

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	17150
課題名	ANCA 関連血管炎の上気道生検の組織学的特徴を明らかにする研究
研究期間	西暦 2017年10月12日 ～ 2018年1月31日
研究の対象	2000年以降に旭川医科大学耳鼻咽喉科で上気道生検が施行され、臨床経過等により ANCA 関連血管炎 (AAV) の診断が確定した成人患者さん 50 名。対照として、AAV 以外の診断 (慢性副鼻腔炎、慢性咽喉頭炎、慢性中耳炎) で上気道生検が施行された成人患者さん 50 名。
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報 (詳細: 年齢、性別、診断名、病歴、疾患活動性スコア、血液・尿検査データ (血清クレアチニン値、CRP、自己抗体、尿蛋白、血尿等)) <input checked="" type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織 (対象臓器等名: 中耳、鼻・副鼻腔、咽頭、喉頭) <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他 ( )
外部への試料・情報提供	<input type="checkbox"/> 自施設のみで利用 <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究グループ内 (提供先: 北海道大学、岐阜大学) (提供方法: 郵送) <input type="checkbox"/> その他 (提供先: ) (提供方法: )
研究組織	北海道大学大学院保健科学研究院病態解析学分野 教授 石津明洋 旭川医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 講師 岸部 幹 岐阜大学 医学部付属病院 病理部・病理診断科 臨床教授 宮崎龍彦
研究の意義、目的	<p>当科では、北海道大学大学院保健科学研究院病態解析学分野、岐阜大学医学部附属病院病理部・病理診断科と共同で、以下の臨床研究を実施しています。この研究は、保管されている標本 (プレパラート)、または検体 (ホルマリン固定パラフィンブロック) から新たに薄切し作製したプレパラートを用いて行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。</p> <p>ANCA 関連血管炎 (AAV) では耳・鼻・咽喉部など上気道に病変が認められることがあります。そのような場合には、診断のため、上気道生検を行っています。どのような所見が診断的に価値のある所見なのか、十分には明らかになっていません。そのため、本研究では、臨床経過等により診断が確定した AAV 患者さんの上気道生検標本を再鏡検し、どのような組織学的所見が AAV に特徴的なのか、明らかにすることを目的としています。</p>
研究の方法	<p>●対象となる患者さん</p> <p>2000年以降に当科で上気道生検が行われ、臨床経過等により AAV の診断が確定した成人患者さん。ならびに、AAV 以外の診断で上気道生検が行われた成人患者さん。</p>

	<p>●利用する標本・検体およびカルテ情報</p> <p>標本：当科に保管されている標本（プレパラート）</p> <p>検体：旭川医科大学病院病理部に保管されているホルマリン固定パラフィンブロック（新たに薄切し、プレパラートを作製します）</p> <p>カルテ情報：年齢、性別、診断名、病歴、疾患活動性スコア、血液・尿検査データ（血清クレアチニン値, CRP, 自己抗体, 尿蛋白, 血尿など）</p>
<p>その他</p>	
<p>お問い合わせ先</p>	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先および研究責任者：  北海道旭川市緑が丘東 2 条 1 丁目 1-1 旭川医科大学  耳鼻咽喉科・頭頸部外科 講師 岸部 幹  電話：0166-68-2554, FAX：0166-68-2559</p> <p>研究分担者：  病理診断部 教授 武井 英博</p> <p>研究代表者：  北海道札幌市北 12 条西 5 丁目 北海道大学大学院保健科学研究院  病態解析学分野・教授 石津明洋</p>